

人づくりのまち 明石をめざして



ごあいさつ

平素は井藤圭順の議員活動、後援会活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。今年も皆様方におかれましては、佳き年でありますように祈念しております。

さて、昨年の12月議会におきまして、当選後初となる議会質問を行いました。今回は待機児童問題をはじめ、小中学生の安全安心に関する問題についてです。



【令和元年12月議会質問写真】

明石市の待機児童対策について

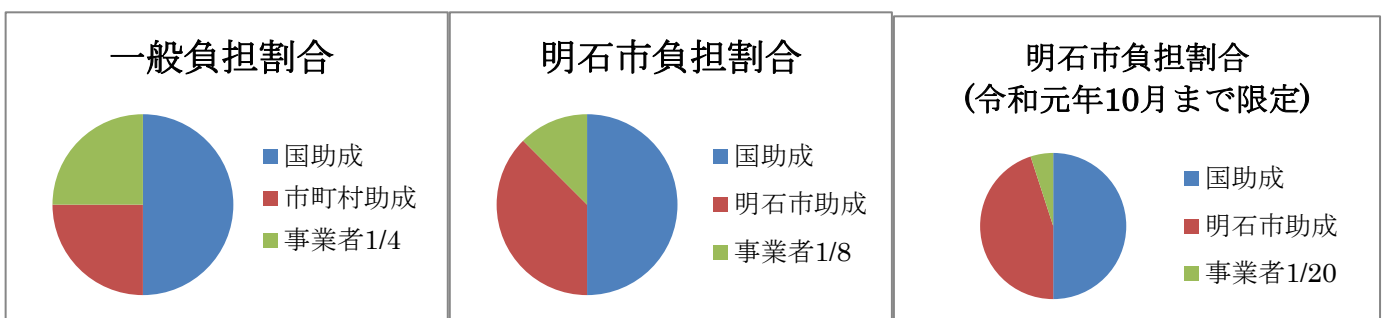


質問 (1) 次年度以降の新設園と保育士確保について

平成28年に待機児童対策室が立ち上がったからの取り組みと待機児童の推移について

	受け入れ枠	待機児童	
平成28年～31年度	+3700人		待機児童対策室における実績と現状
平成31年4月時点		412人	
令和元年11月時点		632人	
～令和2年3月	+1200人予定		令和元年6月議会答弁における更なる対策
～令和2年10月	+300人予定		
～令和3年4月	+500人予定		令和元年9月議会より
令和3年4月以降		0人(予定)	

また、新規参入事業者の新設園開園負担割合について明石市は事業者負担割合が他都市に比べ以下の通り優遇されています。



また、本市の保育士確保については県内の市区町村より先進的に事業を行っており、独自の対策として右記の取り組みも行っています。



【明石保育士総合サポートセンター】

・ 保育士の処遇改善
・ 保育士定着支援金
・ 潜在保育士職業復帰支援事業
・ 私立保育所等のバスツアー
・ 保育士就職フェアの開催
・ 保育士宿舍借り上げ支援
・ 保育士総合サポートセンターの開設

これらの待機児童に関する市の取り組みを踏まえ、次の問題点を指摘しました。

1. 明石市は園舎整備に対して他市に比べ助成率が非常に大きく(市税の負担大)、新園舎を建築した場合の減価償却期間は鉄筋コンクリートで47年ですが、将来を見越して新設が本当に必要であるのか(投資した税金が将来負の遺産とはならないのか)
2. 都市公園(中崎遊園地・松が丘・上ヶ池)を活用した新設園の公募の内、特に中崎遊園地については、再構築基本計画に準拠した子どもの健やかな成長と質の高い就学前教育および保育環境が提供できるのか
3. 1～2を踏まえ、中長期的な人口動向に寄り添った持続可能な教育・保育環境が施行できるよう、早急な再構築基本計画の見直しが行えるのか

答 弁

こども育成部長

待機児童問題に関しては、現在取り組み中の都市公園を活用した施設整備や公立幼稚園の更なる活用により、令和3年4月の待機児童解消を目指し進めていきます。

また、保育の質の確保を推進する上で、保育士の職場環境改善を目的とした「いきいき保育職場応援事業」を推進し、保育士がやりがいを持ち、長く就労できる環境整備支援に努めます。

しかしながら現在、就学前人口が急増し保育サービスの需要が加速しており、さらに国の幼児教育保育の無償化が実施されていることによって、状況が以前より大きく変化しています。これを受け計画の見直しと各施設の在り方を再精査した幼児教育の将来像を早期に示します。



質 問

(2) 市立幼稚園の預かり保育について (3歳児以降)

待機児童の中心年齢が0～2歳のため、明石市では新設園だけでなく小規模保育園の開設にも力を入れています。小規模保育園は安価で大きな面積も要らないため有効ですが対象年齢が0～2歳までのため、3歳児になってからの受け入れ先がなくなります。



そのため、市立幼稚園を活用した3歳児の預かり保育に力を入れています、担当者に保育士や幼稚園教諭といった資格が必要です。そこで、兵庫県では子育て支援員コース研修を修了した支援員の配置制度がありますが、その実態と保育の質や職員体制について質問しました。

答 弁

こども育成部長

現在市立幼稚園では全 27 園で預かり保育を実施しており、担当職員を配置して幼稚園教諭と連携しながら適正に安全に保育できています。法令による職員免許要件は次の通りです。

保育士または幼稚園教諭	1/3 以上
小学校教諭・養護教諭・子育て支援員研修修了者	

明石市の預かり保育に従事する職員数は次の通りです。

保育士または幼稚園教諭	43 名	合計 65 名
子育て支援員研修修了者	18 名	
その他	4 名	



再 質 問

① 子育て支援員を保育園に配置することはできますか。保育園においては右記のような問題があり、解消に向けて短期的な派遣は可能か。

1. 個性を持った園児対応。
(この子に保育士が一人分
割かれてしまうため)



2. 保育士のインフルエンザ罹患などによる充当
3. 保育士の出張研修などによる充当

② 子育て支援員研修の受講希望者が県内に多く、兵庫県が希望者全員受講できていない現状より、明石市独自で研修会を行い、修了した支援員を総合サポートセンターに登録し管理することは可能か。



再 答 弁

人材バンク的な形のものとは実施主体や法的な課題などもあると思われるので今後調査研究します。また、市での研修の実施についても今後十分検討していきます。

質 問 (3) 幼稚園給食お弁当デリバリーについて

幼稚園給食として実施予定のお弁当は大多数の保護者から賛同されており、90%近くの園児が利用すると思われます。これを踏まえ、アレルギー園児対策として対象園児が誤ってアレルゲン物質を口にしないような配膳管理や人員体制をはじめ運営方法について質問しました。



答 弁

こども育成部長

現在、幼稚園の園長と保育所給食を担当する管理栄養士等による検討チームにおいて、給食の実施について詳細を詰めています。議員指摘の配膳やアレルギー対策についても人員体制やマニュアル整備を進めるなど安全安心の給食ができるよう現場の声を聴きながら進めてまいります。

小中学生の安全対策について

質問 (1) ICTを活用した小学生の登下校見守りについて

小学生の連れ去り被害対策としてGPS付きのICタグを携帯させることで、登下校状況を保護者が携帯で管理できる機能の活用に向けた見解を質問しました。



答 弁 教育局長

一定程度の保護者ニーズがあると思われる為、ICTを活用した見守り事業の在り方や、導入の進め方については引き続き調査研究を進めてまいります。

質問 (2) 中学校の防犯カメラについて

市内の中学校に不審者が侵入しました。大きな事件には至りませんでしたが、他にも不審者の侵入事例があります。そこで中学校にも小学校同様、防犯カメラ設置を提案しました。



答 弁 教育局長

安全対策の各種取り組みや費用対効果、他都市の状況など総合的に勘案しながら、中学校の監視カメラの設置については引き続きの検討課題とします。

伝統文化の教育について

質問 小中学生への日本の伝統と文化の教育について

京都市では、市立の小中学校の子どもたちが伝統文化の体験を通じて、礼儀などを身に着けることを狙い、道徳や総合学習の時間を活用し、茶道と華道を学んでいます。これにならい明石市でも各流派から講師を招き、市内の小中学校に出向いて、道徳や総合学習の時間を活用し、子どもたちに伝統と文化の教育をしてはどうかと質問しました。また、クラブ活動などで備品が揃っているところに、モデル校事業として推進しました。



答 弁 教育局長

本市としては故郷を大切に作る心を育む教科を特別の教科道徳、生活科、総合的な学習の時間社会科を通して育んできました。祭りや伝統行事の意味を深く考える学習を行っており、社会科の学習においても、3・4年生は社会科副読本「わたしたちの明石」を活用して授業を行っています。そのほか文化庁の事業である伝統文化親子教室事業を活用して日本の伝統と文化である茶道、華道、日本舞踊など、親と共に体験的に学ぶ地域活動を支援しています。学校現場としては教科道徳を要として、まずは各教科と学校教育活動全体を通して、茶道など日本の伝統と文化を尊重する心について学んでいきます。モデル校事業の提案については、各学校に提案していきたいと思います。